

TOTO

洗面化粧台・ウォールキャビネット

LDB604・LDB754・LWB754・604型

製品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明してください

1) 安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。
--	--------------------	--	-----------------------

- 本体に付属されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

<p>電気配線工事・給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・業者」が行う 火災や感電および水漏れの原因になります。</p>	<p>浴室など湿気の多い場所へ設置しない 木部の膨潤、変形によりキャビネットが外れてケガをするおそれがあります。</p>
---	--

警告

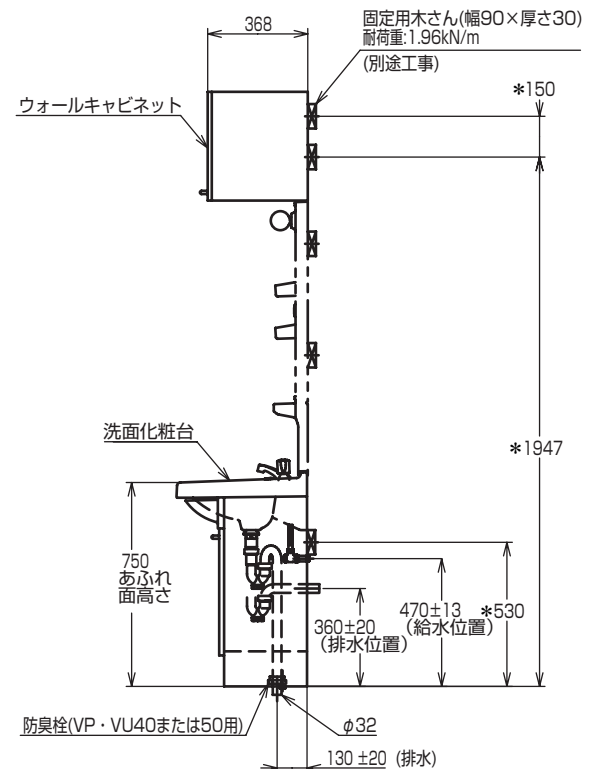
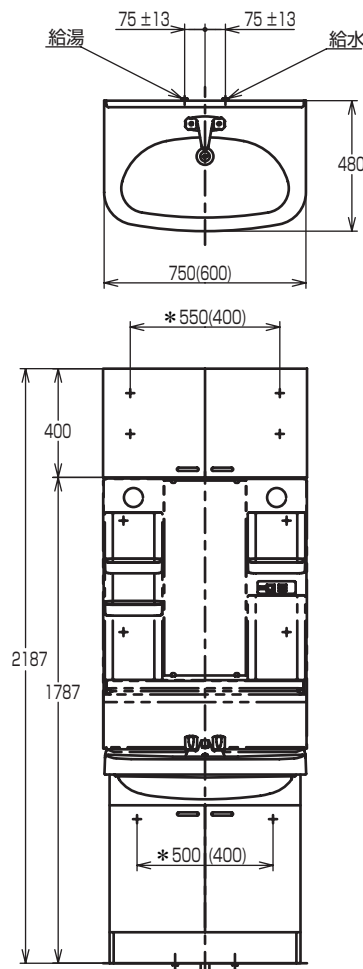
壁固定ねじ取付位置に木棧を入れて補強するキャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

注意

<p>湯・水を逆さに配管しない 水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。</p>	<p>凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う 凍結破損で水漏れし家財などに損害を与えるおそれがあります。</p>	<p>カウンター・洗面器の上に乗らない 故障および転落・転倒してケガの原因になります。</p>
<p>取付完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する 水漏れを起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります。</p>	<p>取付完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する 使用中に扉が落下してけがをするおそれがあります。</p>	

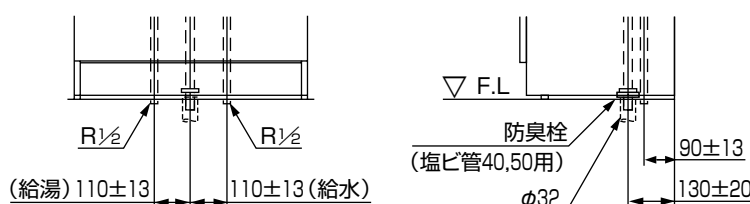
2) 設置寸法

- 特殊品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 本図はLDB754ACタイプ+LWB754タイプです。
- () 寸法は600サイズです。
- *印の寸法は木ねじ位置を示します。



【床給水の場合】

給水・給湯位置



※止水栓・連結管および壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。
 (注) 一般地用シングルレバー混合栓の連結管は、止水栓に付属しています。

【別売品】

			LDB604AD 単水栓	LDB604AC・754AC 2ハンドル混合栓	LDB604AM・754AM シングルレバー混合栓
止水栓	壁給水	一般地	LTL316C1RU (1個)	LTL316C1RU (2個)	LTL524CD8U (2個)
		寒冷地			LTL316C1RU (2個)
	床給水	一般地	LT4BD18U (1個)	LT4BD18U (2個)	LT4BDUY (2個)
		寒冷地			LT4BD18U (2個)
連結管	壁給水	一般地	LTN65LX25 (1個)	LTN65LX25 (2個)	---
		寒冷地			LTN65LX25 (2個)
	床給水	一般地	LTN65LX30 (1個)	LTN65LX30 (2個)	---
		寒冷地			LTN65LX30 (2個)
壁排水トラップ	一般地 寒冷地	L094			

3) 付属部品明細

【洗面化粧台 LDB】

		名 称	数 量
1	水栓一式 (※シングルレバー混合栓のみ保証書を付属しています。)	シングルレバー混合栓 LDB604AM・754AM	1セット
		2ハンドル混合栓 LDB604AC・754AC	1セット
		単水栓 LDB604AD	1セット

		名 称	数 量
2	排水トラップ		1セット
3	給水ふた	LDB604ADA・ADUA	1個
		上記以外	2個
4	排水ふた		1個

		名 称	数 量
5	防臭栓		1個
6	ふた用木ねじ (φ3×12)	LDB604ADA・ADUA	5本
		上記以外	7本
7	壁固定用木ねじ	 (φ5.2×55)	2本
8	取扱説明書 (保証書付)		1冊

【ウォールキャビネット LWB】

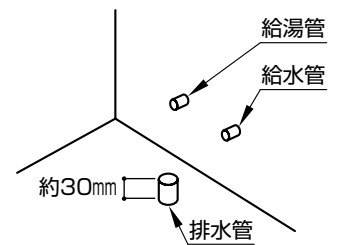
		名 称	数 量
1	壁固定用木ねじ	 (φ5.2×55)	4本

4) 設置上の注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

5) 取り付け前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。
※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。
 (壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のJAS規格品の板を強固に取り付けてください。)
- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
- 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台に給水・給湯穴 (φ52)、排水穴 (φ90) を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より30mm立ち上げてください。



6) 使用条件

【シングルレバー混合栓】

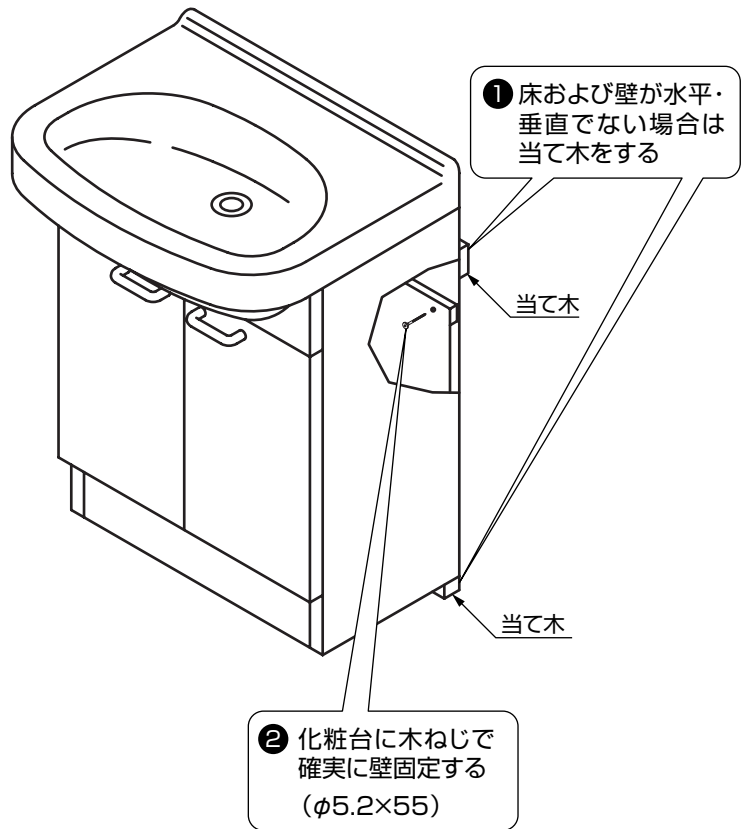
- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の組立・設置説明書をご参照ください。

7) 取付手順 (番号順に取り付けてください。)

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度:1,000N以上/本)を打ち込んでおいてください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

1 化粧台の取り付け

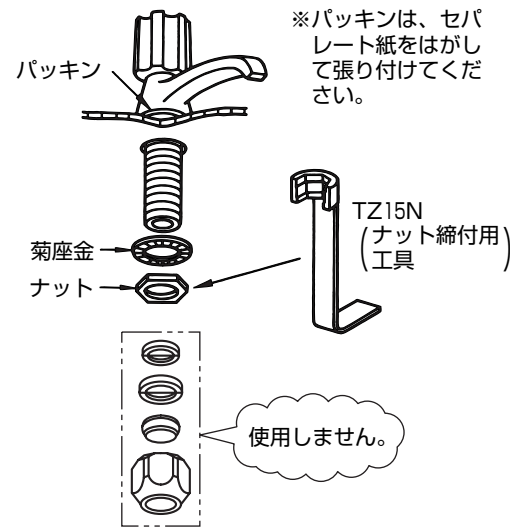
- 床および壁が水平・垂直でない場合には、扉に段差ができるおそれがありますので丁番を調整して段差をなくしてください。(調整要領は扉裏面に張り付けのラベルをご参照ください。)それでも良くならない場合は、当て木をして水平になるように調節してください。



2 水栓金具の取り付け

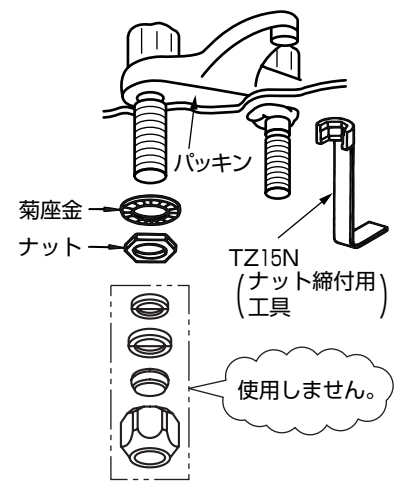
- 別売のナット締付用工具 (TZ15N) を使用して確実に締め付けてください。
- ※水栓本体と陶器のすき間が見えなくなるようにナットを確実に締め付けてください。

【単水栓の取り付け】



【2ハンドル混合栓の取り付け】

- ※片締めしますと、洗面器が割れるおそれがありますので左右交互に均等に締め付けてください。



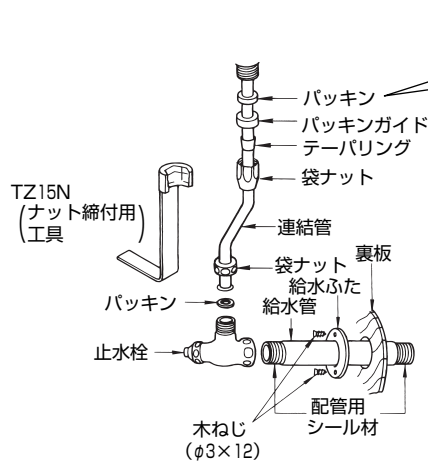
- シングルレバー混合栓の場合は、水栓金具に付属の組立・設置説明書をご参照ください。

3 止水栓・連結管の取り付け (別売品)

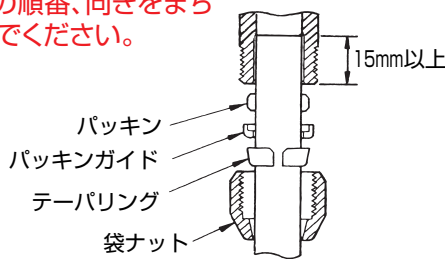
- ナットは工具で確実に締め付けてください。
- 連結管が長い場合は、差込代を15mm以上確保し、カットしてください。

シングルレバー混合栓 (一般地タイプ)

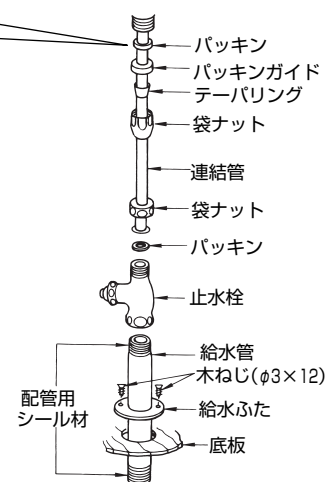
【壁給水の場合】



※テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。

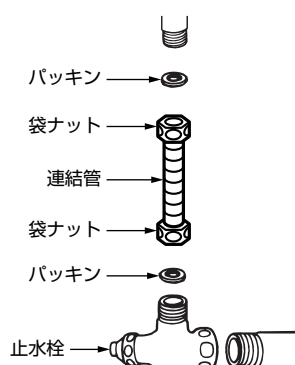


【床給水の場合】

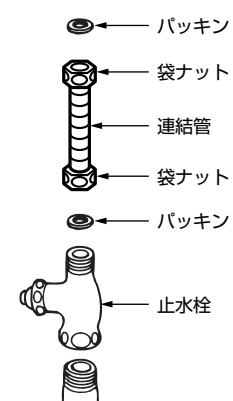


シングルレバー混合栓 (寒冷地タイプ) ・単水栓 ・2ハンドル混合栓

【壁給水の場合】



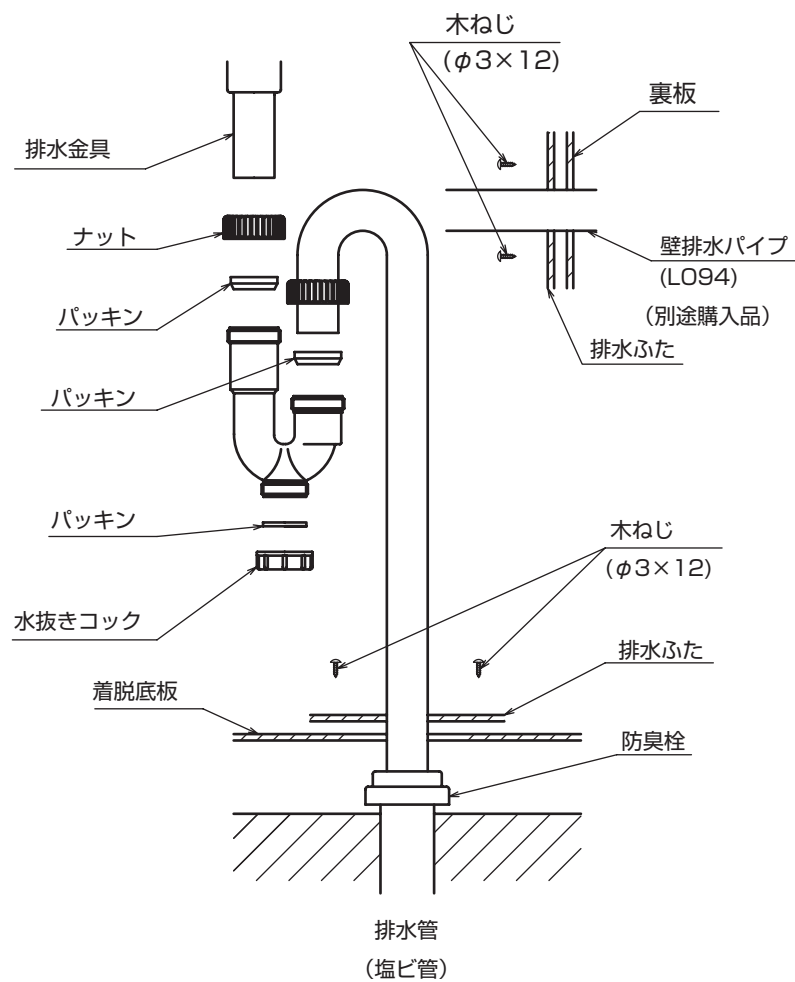
【床給水の場合】



4 排水トラップの取り付け

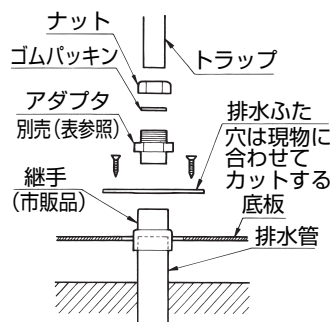
※ナット・水抜きコックは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。

- 床排水トラップの場合は、配水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ(下表)で確実に接続してください。

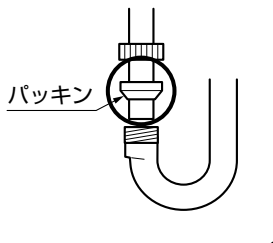


【集合住宅、高層住宅の場合】

アダプタの種類	サイズ
T1122 (鋼管用)	R1¼
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用

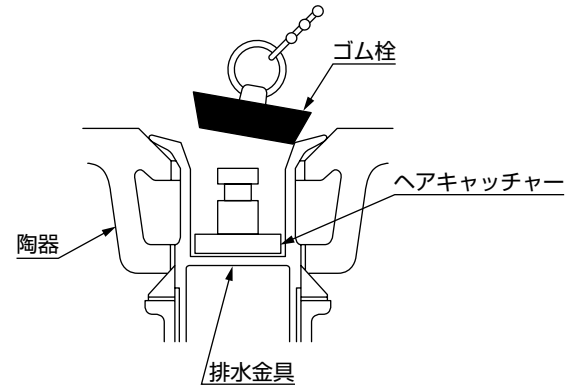


※パッキンの方向に注意してください。



5 ゴム栓・ヘアキャッチャーの取り付け

- 水栓に付属または洗面器に接続されているゴム栓を排水口の図の位置に取り付けてください。

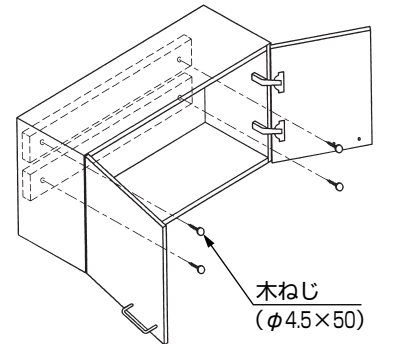


6 ウォールキャビネットの取り付け

(別売品のウォールキャビネットを取り付ける場合は、この方法にしたがってください。)

- ウォールキャビネットを化粧鏡の上に乗せて、水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の木ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。

※壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取り付けまでするので、当て木を入れて垂直に固定してください。



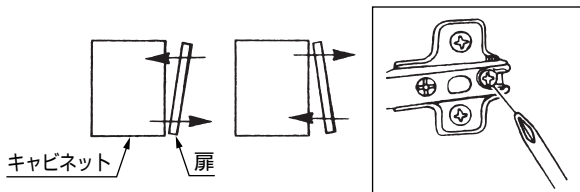
7 扉の段差調整方法

- キャビネットの扉の段差調整を行ってください。

【扉の調整方法】

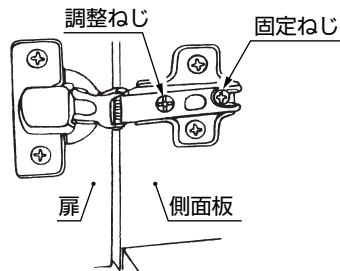
①扉の前後調整

固定ねじをゆるめて前後調整した後、固定ねじを締めてください。



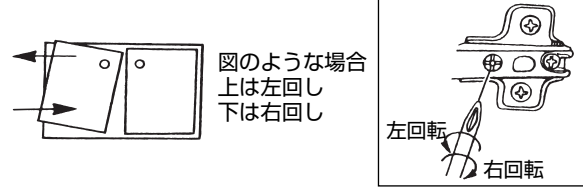
- 調整後は、固定ねじにゆるみがないか確認してください。

【各部の名称】



②扉の左右調整

調整ねじを回して、左右の傾きを調整してください。



8 取付完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 製品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

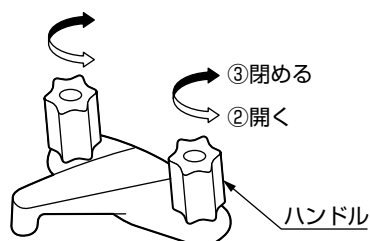
9 寒冷地タイプの水抜方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

単水栓・2ハンドル混合栓

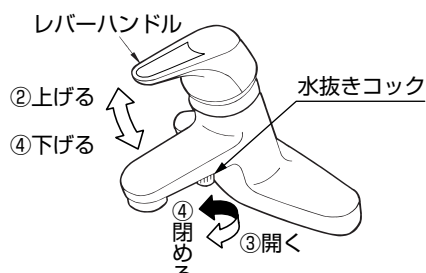
- ①配管部の元栓を閉め、水抜き栓(配管部)を開けてください。
- ②水栓金具のハンドルを開いてください。
- ③水抜き後は必ずハンドルを確実に閉めてください。
- ④配管部の水抜き栓を閉め、元栓を開けてください。

※水栓本体の水抜きはありません。



シングルレバー混合栓

- ①配管部の元栓を閉め、水抜き栓(配管部)を開けてください。
- ②レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で上げてください。
- ③水抜きコックを開いてください。
- ④水抜き後は必ずレバーハンドルを下げ、水抜きコックを確実に閉めてください。
- ⑤配管部の水抜き栓を閉め、元栓を開けてください。



排水トラップ

- ①水受けの容器を置き、排水トラップの水抜きコックを開いてください。
 - ②水抜き後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。
- (注) 水抜きコックは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。

